

令和3年10月29日

第6学年保護者様

横浜市立今宿小学校
校長 島田 恒弘
第6学年職員

令和3年度全国学力・学習状況調査 結果について

5月に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。返却している調査結果等をご覧になった上で、一人ひとりに合った解釈をしていただくようお願いいたします。

1 目的

- 全国の児童の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 児童への教育指導の充実や学習内容の改善等に役立てる。

2 結果

(1) 学力の状況 (平均正答率:%)

【国語】

		本校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体		62	63	64.7	
学習指導要領の内容	知識及び技能	64.4	63.8	68.3	
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	77.5	78.9	77.8
		B 書くこと	55.6	58.3	60.7
		C 読むこと	45.7	48.7	47.2
評価の観点	知識・技能	64.4	63.8	68.3	
	思考・判断・表現	60.1	62.5	62.1	
問題形式	選択式	71.1	71.6	71.7	
	短答式	62.9	64.2	70.6	
	記述式	36.7	38.9	40.2	

【算数】

		本校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		65	70	70.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	57.5	62.2	63.1
	B 図形	50.0	57.3	57.9
	C 測定	71.9	74.7	74.8
	C 変化と関係	68.9	76.6	75.9
	D データの活用	75.1	77.1	76.0
評価の観点	知識・技能	69.0	74.4	74.1
	思考・判断・表現	60.8	65.1	65.1
問題形式	選択	75.0	77.4	76.0
	短答式	68.5	75.4	75.8
	記述式	46.4	52.2	53.0

(2) 児童の意識の状況

児童質問紙（学習や生活についての実態や意識を問う質問）では、以下のような傾向が見られました。

肯定的な答えの割合が 国や県の平均よりも高かった項目	肯定的な答えの割合が 国や県の平均よりも低かった項目
<ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢や希望をもっている。 ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだとわかっている。 ○人が困っていると、助けようとしている。 ○課題の解決に向けて、自分から取り組んでいる。 ○友達と話し合うときには、友達の話や意見を最後まで聞く。 ○国語の学習が大切だと思う。 ○算数の学習が大切だと思う。 ○読書が好き。 ○朝食を毎日食べている。 ○毎日、同じくらいの時刻に起きている。 ○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。 ○人の役に立つ人間になりたい。 ○学校に行くのが楽しい。 ○友達と協力するのは楽しい。 ○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分で決めたことは、やり遂げるようしている。 ●話し合う活動で、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。 ●学習でコンピュータなどの ICT 機器の操作経験が多い。 ●1日あたりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）が短い。 ●家で計画を立てて、勉強している。 ●学校の授業時間以外の、1日あたりの勉強時間（塾等を含む）が多い。 ●新聞を読む。 ●地域の行事に参加している。

以上の結果から、(1) 学力の状況では、平均正答率で見ると全国や県と比べ、下回っている項目が多いことが分かります。正答率が全体的に低いとともに、正答率が著しく低い児童の割合が多い傾向にあります。このことから教師のアプローチが、特に学習内容が身につけていない児童に対しても効果的でなくてはならないと考えます。

また、(2) のアンケートの結果から、生活習慣と学力が関係していることも読みとれました。したがって、日々の生活を見直すことも、学力の向上につながると考えます。

ご家庭と学校で、子どものために考えていくことが大切です。

3 取組

※今年度よりすでに行っていることもあります。学年だけではなく、この結果を学校としてもいかしていこうと考えています。

〈学校〉

- ・教科分担制（教科担任制）を通して、児童の情報交換や空いている時間を活用して授業を見合い、授業改善に努めます。
- ・担任、専科、児童支援専任など多数の教員で、支援・指導にあたります。
- ・家庭学習の自主学習で、自分の課題にあったプリントを選べるコーナーを学校内で数カ所設置します。
- ・行事等で、実行委員会を立ち上げ（自主的な参加）、自分たちで創りあげる経験を積ませます。
- ・学年だよりの裏に子どもの自主学習を提示します。

〈授業〉

- ・自分の考えをもたせるために、考えを表現する時間をできる限り確保します。
- ・的確な伝え方を知るために、よい伝え方ができた児童をピックアップし、共有していきます。
- ・課題・問題解決のために、話し合いの目的を明確に示します。
- ・課題・問題解決のために、子どもたち自身で話し合う場面を設定していきます。
- ・横浜市が作成している「情報活用能力」の表をもとに、計画的に ICT 機器の操作等の機会を設けます。



〈家庭〉

- ・学校生活について意欲を高めるような声かけと家庭学習の課題を行ったかどうかの確認をお願いします。
 - ・家庭学習の課題の量をご相談ください。
- 現在、課題（平日）の量を漢字スキルか算数ドリルの1ページと音読か読書をする事になっています。個人面談を通して、「うちの子は多めにしてください！」という声からその子どもと相談をして、量を増やしています。
- ・一日の生活の中での時間の使い方について、話し合ってください。特に家庭学習を行う時間について、明確にしてください。
 - ・テレビ（携帯）ゲームの使用時間や場所について、約束事を明確にしてください。
 - ・スマートフォンや携帯電話の使用方法（使ってよい場所、ロック等）や時間について、約束事を明確にしてください。

